



開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

# たきざわ市議会だより

## 第29号

令和元年 11月15日  
発行責任者：滝沢市議会議長  
編集：広報常任委員会

### 市民議会「U22学生編」参加者募集

日時：令和2年2月2日（日）午前9時～12時

場所：滝沢市役所 4階 議場

対象：市内にお住いの中学生、高校生、大学生

募集人数：10組程度、先着順。

申し込み：令和元年12月13日（金）までに、議会事務局へご連絡ください。

※開催要項等詳しくは、ホームページをご覧ください。



テーマ

## 滝沢市への思い

—若者が住み続けたいくなる滝沢へ—

# 平成30年度 決算審査報告

### ② 一般会計歳入審査

質疑及び答弁の内容の一部を紹介いたします。

**問** 現年課税分（市民税・個人分）の前年対比の増収の要因は。

**答** 納税義務者の増、給与収入等の所得割の伸び、収納率の伸び等が大きき要因です。

**問** 市税（個人分）の不納欠損額の減の要因と、収納政策での成果と課題は。

**答** 市民税1件と県民税を合わせて6千円、外国籍者の転出、軽自動車課税者の不明などによる不納欠損がありました。

**問** 収納政策の評価は、金融機関での納付環境の改善が図られたことと職員

の技術向上を図ったことによりです。今後も迅速な対応をします。

**問** 軽自動車税の収納率低下の要因は。

**答** 廃車手続き、名義変更、車両の不明などが低下の要因です。

**問** 軽自動車税の増収の要因は。

**答** 登録台数の変動は小さいですが、軽貨物車両が減少し、乗用車が増加したためです。

**問** たばこ税の減収の要因は。

**答** 販売本数が前年比の5%ほどの減少のため減収となっています。昨年10月の料金改定が影響しました。

**問** 寄附金（一般寄付金）ふるさと納税の減収の要因と使途の配分傾向は。

**答** 29年度は500万の一般寄付があり、30年度は無かったためです。さらに30年度のふるさと納税が約1500万円減少しました。

**問** 使途の目的は「自然環境の保全」が全体の4割と多くなっています。

**答** 学校給食費の収納率は、コンビニ納付制度と学校の仲介協力が大きいです。

**問** 現年分の収納率が99.28%と昨年度から横ばいとなっています。

**答** 現年分の収納率が99.28%と昨年度から横ばいとなっています。

**問** 産直・物販・レストランの売上増が今後の課題です。レストランは伸びていますので産直・物販

への注力が必要です。今後は、関係各課と連携し生産者の声を活かし改善します。

**問** たきざわキッチンのリニューアルメニューの改善は。

**答** 運営委員会を通じて、積極的に協力します。

### 総務教育分野

#### 【懸案事項】

○ビッグブルー滝沢の利

用促進

○防犯灯（通学路）

○各地区の集会施設の老朽化



**問** 防犯灯など児童生徒の安全な通学路への対応は。

**答** ハード面では、約150灯の防犯灯、7件のカーブミラーの修繕実績です。点検も月1回実施しています。

**問** ソフト面では、交通指導員、スクールガード、PTA、少年補導員の協力などで見守りをしていきます。

**問** 防犯灯設置件数10基の計画に対し1基の実績の理由は。

**答** 電気工事業者等からの寄付で進めていたものでしたが昨年度の寄付の実績が無かったため、改修を優先し新規設置に至りませんでした。

**問** 通学路にある防犯灯未設置場所への対策と設置計画は。

**答** 健康づくり  
○子育て支援  
○高齢者移動手段の確保  
○ごみ減量化及びごみ処理負担金

### 環境厚生分野

#### 【懸案事項】

○健康づくり

○子育て支援

○高齢者移動手段の確保

○ごみ減量化及びごみ処理負担金

○健康づくり

**問** 胃がん、大腸がん及び前立腺がん等の受診率減少の要因は。

**答** 多忙であることや、勤務先での受診による働き世代の受診率の低さが要因です。

**問** 基本健康診査の受診者数、受診率の減少要因と今後の対策は。

**答** 要因は、手続きに行けない、既に受診している、申請内容がよくわからないなどによるものでした。

**問** 一人ひとりの事情が違うため未受診者の把握を強化していきます。

**問** 婦人病検診の受診者数、受診率減少の要因は。

**答** 市内産婦人科の閉院と仕事や介護等による多忙など、女性の社会的背景の変化が要因です。

**問** 「健康づくり宣言」の地域指定の効果は。

**答** 自治会によるウォーキングマップ作成やウォーキング教室、早寝早起き等の取り組みが見られ、がん検診受診増などの健康意識の上昇につながっています。

**問** 予防接種事業の接種率、接種者数減の対策は。

**答** 減少の理由には接種前の体調不良、親の考え等があげられますが、大きな要因は出生数の減少です。

**問** 放課後児童クラブでの待機児童解消と運営関係課と情報を共有し、

クラブ間の調整により、待機児童の解消は達成できましたが、高学年の入所対策は改めて実態調査をします。

また、相談件数は運営方針のことで2件あり、指導員を2名配置し適切に行っています。

**問** 保育所の待機児童の解消は。

**答** 認定保育園の設置や、定員増の協力を得て進めています。

**問** 子ども・子育て支援の一時預かりの利用者の減少（1745人↓773人）と保育所待機児童の解消との関係は。

**答** 29年度と比較して30年度は55人の保育所の定員増で、入所する児童が増えたために、一時預かりが減少しました。

**問** 福祉バスの利用者減少の要因は。

**答** 陸大学の学生の利用が減少したためです。

**問** 患者輸送バスの利用者減少の要因は。また、交通政策関係課と共有した成果は。

**答** 減少の要因は自家用車利用の増等の社会情勢の変化によるものです。

関係課と情報を共有し、





今後の方向性について調査検討を行っています。

**問** 容器包装廃棄物削減への取り組みに関する協定の効果は。

**答** 効果の指標を作成中であり、まだ結果が出ていません。



**産業建設分野**

【懸案事項】

○道路への住民要望に対する対応等

○菓子駅駐車場利用の利便性

○空き家の対策

○遊休地の対策

○公共交通

○観光

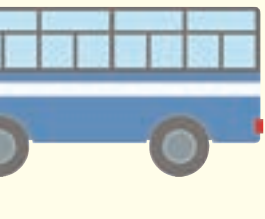
**問** 市道等維持管理事業での、現況の評価方法、評価基準、評価結果に対する優先順位の判定方法は。

**答** 道路修繕の基本方針は、修繕要望から概ね10日以内に現地を確認、道路の利用形態、危険度の程度、機能限界の予見、概算経費等により評価します。



**問** 中山間地域等直接支払交付金事業での遊休地の解消にあたって、支援に係る予算は十分だったのか。事業終了後の経営基盤の見通しは。

**答** 姥屋敷の1集落で実



**問** 公共交通(日常生活支援の交通サービス)で、市民ニーズの把握と、その内容は。また、具体的なサービスの考えは。

**答** ニーズはバス祭りなどでアンケートを取りましたが、それだけでは捉えられない潜在的なニーズがあると思えますので、地域に入って具体的に細かく把握していきます。

現状の課題と住民満足度の向上対策は。

**答** 課題は、住宅密集地における雪寄せスペースの確保、圧雪前の除排雪の実施等です。

**問** 満足を向上させる対策としては、深夜のバトリル、除雪委託業者との密な連絡体制の構築等により、早期の除雪を行うことです。

**問** 菓子駅駐車場の慢性的な満車状態に対する対策と、市民が使いやすいような有料化の考えは。

**答** まずは実態を正確に調査してから対策を考えます。市民優先というだけではなく、有料化で駐車場利用者(IGR利用者)が減つては困ります。



**問** 農業・福祉関係の連携を活かした遊休地の活用策は。

**答** 現状では連携による活用は考えていませんが、今後話し合いをしながら検討していきます。

**問** 新たな加工品は30年度に2品で、クイックスイートのクッキーとドーナツ型和菓子です。

**答** 首都圏でのPRとしては、東京の銀河プラザでの滝沢スイカやスイカの加工品の試食販売が好評でした。また、豪華観光列車の「トランスイール四季島」に唯一の芋焼酎として滝沢の「馬手ん」が提供されています。

**問** 市特産品開発で、新たな農産品加工や、広域主催イベントのPRの効果は。

**答** 滝沢には紹介するべき観光資源がまだまだたくさんありますが、宣伝不足を感じています。

**問** 市産業まつりと商工会まつりが統合した成果と課題は。

**答** 29年度に統合し30年度から事務局を商工会に置いています。今年度は来場者数が2万人を超え、土木業者などによる体験型コーナーが子どもたちに人気でした。

**決算審査の流れ**



**予算決算常任委員会**

**本会議**

**④ 総括的審査**

**問** 歳入と歳出の考え、職員への市民に対する接し方など、市全体の意識と市政に対する思いは。

**答** 決算が黒字の要因は、前市長時代から実施していた財政構造改革の結果と考えています。また「入るを量りて出するを為す」を基本とし、世代間の公平性、将来的な負担度合い等を考慮した市債の発行も考えていきます。

次に、職員に対しては、市民を第一に考える接し方に留意するように指導していきます。

**問** 通学路の歩道と防犯灯の整備が不十分で、自治会などからも毎回提言されているが、子どもの安全を守るための施策は。

**答** 決算が黒字の要因は、前市長時代から実施していた財政構造改革の結果と考えています。また「入るを量りて出するを為す」を基本とし、世代間の公平性、将来的な負担度合い等を考慮した市債の発行も考えていきます。

協議・連携して総合的な点検をし、できることから進めます。

**問** 30年度一般会計の実質単年度収支が3年連続黒字決算となった市長の評価は。

**答** 構造改革の努力の結果として評価しています。

向上などで5千万円の増などがありました。歳出が重要で、歳入拡大大会で受益と負担の割合も検討します。

**問** 「前期基本計画」と

「地域別計画」の振り返りによる検証・評価は。

**答** 「前期基本計画」の検証は現在各部で進めています。「地域別計画」ではテナを高くして補助金確保に努め、民間とも連携しながら財源確保を進めます。

「地域別計画」の振り返りによる検証・評価は。

**答** 「前期基本計画」の検証は現在各部で進めています。「地域別計画」ではテナを高くして補助金確保に努め、民間とも連携しながら財源確保を進めます。

「地域別計画」の振り返りによる検証・評価は。

**答** 「前期基本計画」の検証は現在各部で進めています。「地域別計画」ではテナを高くして補助金確保に努め、民間とも連携しながら財源確保を進めます。

「地域別計画」の振り返りによる検証・評価は。

**答** 「前期基本計画」の検証は現在各部で進めています。「地域別計画」ではテナを高くして補助金確保に努め、民間とも連携しながら財源確保を進めます。

「地域別計画」の振り返りによる検証・評価は。

**答** 「前期基本計画」の検証は現在各部で進めています。「地域別計画」ではテナを高くして補助金確保に努め、民間とも連携しながら財源確保を進めます。

協議・連携して総合的な点検をし、できることから進めます。

**問** 30年度一般会計の実質単年度収支が3年連続黒字決算となった市長の評価は。

**答** 構造改革の努力の結果として評価しています。

向上などで5千万円の増などがありました。歳出が重要で、歳入拡大大会で受益と負担の割合も検討します。

**問** 「前期基本計画」と

「地域別計画」の振り返りによる検証・評価は。

**答** 「前期基本計画」の検証は現在各部で進めています。「地域別計画」ではテナを高くして補助金確保に努め、民間とも連携しながら財源確保を進めます。

「地域別計画」の振り返りによる検証・評価は。

**答** 「前期基本計画」の検証は現在各部で進めています。「地域別計画」ではテナを高くして補助金確保に努め、民間とも連携しながら財源確保を進めます。

「地域別計画」の振り返りによる検証・評価は。

**答** 「前期基本計画」の検証は現在各部で進めています。「地域別計画」ではテナを高くして補助金確保に努め、民間とも連携しながら財源確保を進めます。

「地域別計画」の振り返りによる検証・評価は。

**答** 「前期基本計画」の検証は現在各部で進めています。「地域別計画」ではテナを高くして補助金確保に努め、民間とも連携しながら財源確保を進めます。

「地域別計画」の振り返りによる検証・評価は。

**答** 「前期基本計画」の検証は現在各部で進めています。「地域別計画」ではテナを高くして補助金確保に努め、民間とも連携しながら財源確保を進めます。

「地域別計画」の振り返りによる検証・評価は。

**答** 「前期基本計画」の検証は現在各部で進めています。「地域別計画」ではテナを高くして補助金確保に努め、民間とも連携しながら財源確保を進めます。

**① 現地調査**

**【新設校整備事業(滝沢中央小学校)】**

○30年度事業費 2,451,703千円 (総事業費 3,295,378千円)



**【放課後児童健全育成施設整備事業(滝沢中央学童保育クラブ)】**

○30年度事業費 93,581千円 ※継続中



**【穴口・室小路地区人道橋外新設事業】**

○30年度事業費 94,657千円 (総事業費 220,088千円)



**【スマートインターチェンジ整備事業】**

○30年度事業費 252,575千円 今年度完了予定 総額見込 1,349,828千円



**【畜産試験場柳沢線道路改良舗装事業】**

○30年度事業費 370,478千円 ※継続中



**自由討議**

菓子駅駐車場は満車状態が続いているため、今後多くの利用者が満足できる方策、課題の明確化、問題解決等を討議しました。

**テーマ 「菓子駅の利便性を高めるための駐車場の在り方について」**

〈討議内容〉

○利便性向上には、利用料金の差別化による施設利用の公平性の確保と、有料化での受益者負担の適正化を実現することが必要。さらに利用者への調査や民間業者の知恵・知識の活用も必要です。

○パークアンドライド(以下P&R)をより広める観点から、駐車場の増設、月ぎめ料金や時間貸し料金の設定をすべきです。

○有料化は、IGRのP&Rの乗客増に支障をきたすので、調査や議論を優先すべきです。

○利用者に対する調査が最優先で、IGRの乗車料金も再検討すべきです。

○有料化を検討するのなら、大金駅の駐車場も含めるべきです。

※自由討議は、問題点を浮き彫りにし、さまざまな観点から論点を整理し、議員間の理解を深めるとともに、公開をすることによって議会の説明責任を果たすためのものです。



**⑤ 討論**

**●国民健康保険特別会計**

**【反対】 日本共産党 仲田孝行**

市町村が運営する国保は、他の医療保険に加入しない、すべての住民に医療を保障する制度です。国保は誰もが一度はお世話になる医療制度であり、話になる医療制度であり、本市においては加入世帯6580、被保険者数10617で市民の5人に1人が加入している日本最大の医療保険です。

**問** ビッグブルー滝沢の2期連続赤字を受けて、たきざわキッチンのレストラン・物販・産直の売上向上のための市・アルビレオ滝沢・生産者・観光協会等の連携は。

**答** 指定管理者による基本協定に基づいた管理運営を行っています。施設の目的を「賑わい」「産業振興」「地域活性化」と設定していましたが概ね好評です。

**問** 2期連続の赤字ですが、去年から今年にかけて大幅な増益になっており、今後に期待できる結果です。

**答** 物販・飲食に関しては、もう少しマーケティング分析をする必要があると考えています。

**問** 自主財源の確保、拡充策がもっとも重要と思うがその進め方は。

**答** 市税を中心に充実を図りたいと考えています。歳入拡大会議にて受益と負担の問題の研究を行う

今後は、財政構造改革の継続の成果が出てきている中で、事業の厳格化を更に進めていく必要があると考えています。

**問** 「住民自治日本」のための歳出の力点は。

**答** 各部の中で限られた予算の中で、事業の「安心安全」等の優先順位で実施しました。

**問** 今後は、市民・関係者の方へ、その考え方や検討内容の伝え方を検討します。

**問** ビッグブルー滝沢の2期連続赤字を受けて、たきざわキッチンのレストラン・物販・産直の売上向上のための市・アルビレオ滝沢・生産者・観光協会等の連携は。

**答** 指定管理者による基本協定に基づいた管理運営を行っています。施設の目的を「賑わい」「産業振興」「地域活性化」と設定していましたが概ね好評です。

**問** 2期連続の赤字ですが、去年から今年にかけて大幅な増益になっており、今後に期待できる結果です。

**答** 物販・飲食に関しては、もう少しマーケティング分析をする必要があると考えています。

**問** 自主財源の確保、拡充策がもっとも重要と思うがその進め方は。

**答** 市税を中心に充実を図りたいと考えています。歳入拡大会議にて受益と負担の問題の研究を行う

今後は、少子高齢化などで財政運営が厳しくなることから、職員もアンテナを高くして補助金確保に努め、民間とも連携しながら財源確保を進めます。

**問** 財源確保に向けた施策は。

**答** 市税の確保であり、産業の振興、企業の誘致が重要で、歳入拡大大会で受益と負担の割合も検討します。

**問** 「前期基本計画」と

「地域別計画」の振り返りによる検証・評価は。

**答** 「前期基本計画」の検証は現在各部で進めています。「地域別計画」ではテナを高くして補助金確保に努め、民間とも連携しながら財源確保を進めます。

**問** 30年度一般会計の実質単年度収支が3年連続黒字決算となった市長の評価は。

**答** 構造改革の努力の結果として評価しています。

「地域別計画」の振り返りによる検証・評価は。

**答** 「前期基本計画」の検証は現在各部で進めています。「地域別計画」ではテナを高くして補助金確保に努め、民間とも連携しながら財源確保を進めます。

**問** 30年度一般会計の実質単年度収支が3年連続黒字決算となった市長の評価は。

**答** 構造改革の努力の結果として評価しています。

「地域別計画」の振り返りによる検証・評価は。

**答** 「前期基本計画」の検証は現在各部で進めています。「地域別計画」ではテナを高くして補助金確保に努め、民間とも連携しながら財源確保を進めます。

**問** 30年度一般会計の実質単年度収支が3年連続黒字決算となった市長の評価は。

**答** 構造改革の努力の結果として評価しています。



# 滝沢市議会の活動展開

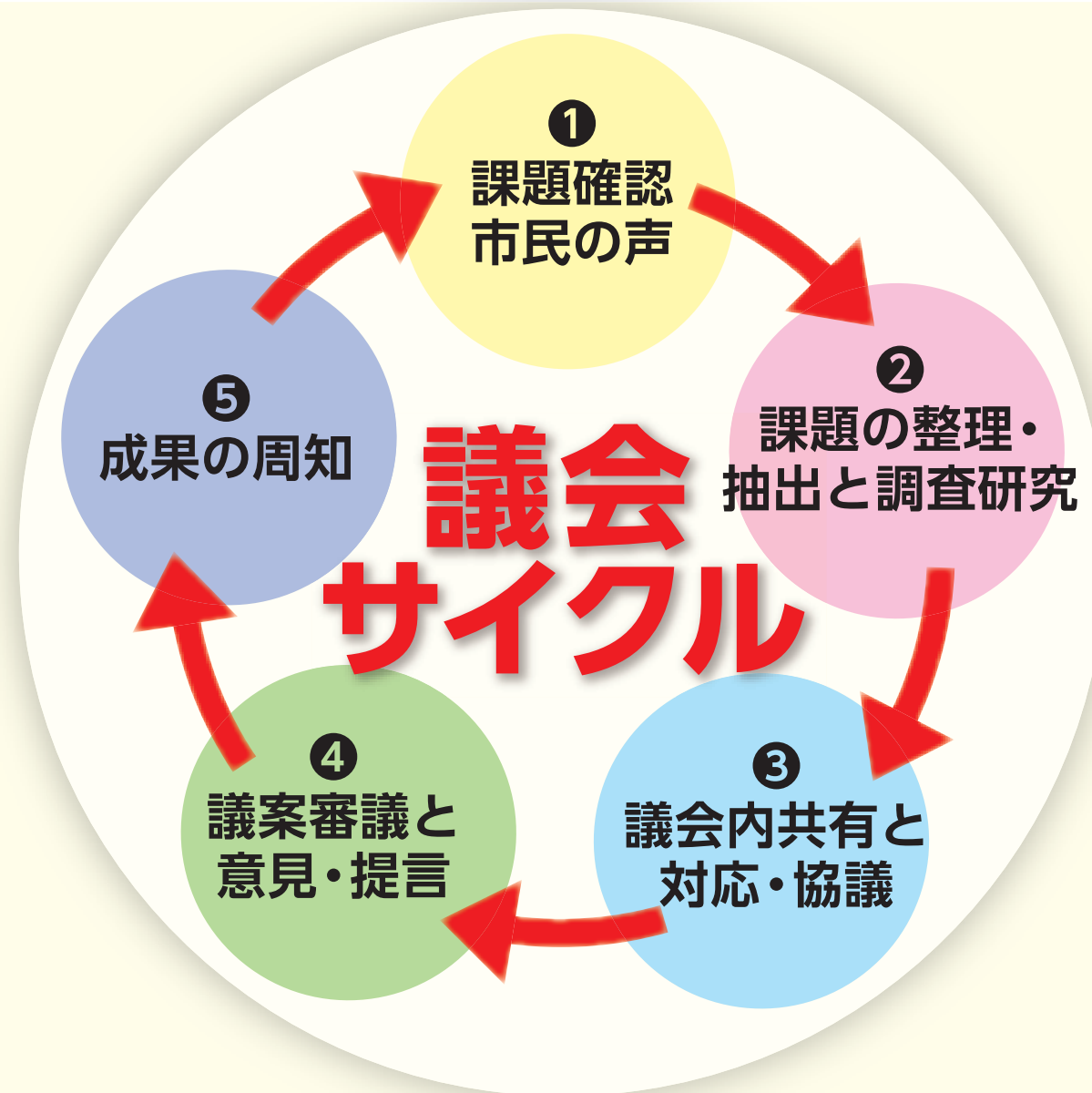
議会では、市民とともに歩む議会をモットーとして、市民の意見や思いを幅広く受け止め、政策論議と活動を進めています。

懇談会や報告会などでいただいた意見・要望を常任委員会で整理し、調査・研究を行い、その経過を議会内で共有を図り、審議・提言等を行っています。

その結果は「議会だより」「議会のホームページ」にて皆様に報告しています。

議会では、これまでのさまざまな取り組みを右の図のように「議会サイクル」としてルール化しました。

また、この取り組みについては、議会改革推進会議において、議会評価を行い、議会基本条例に定めた内容を自らチェックし、常に前向きな姿勢で臨んでいます。



## ①課題確認・市民の声

議会では、以下の三つの場面を設定し、市民の声を広く取り入れています。

1つ目として『議会報告会』を行っています。参加者一人ひとりが、気になっている地域の課題や、その解決策等をワークショップを取り入れて行い、その場で内容を整理しながら地域課題を共有します。

そのことにより、地域の課題が具体的になり、議会で議論すべき核心が見えてきます。



2つ目は『市民懇談会』です。懇談会の開催は、委員会で市民の声を参考とするために議会からお願いするものと市民団体からお声掛けいただくものと二通りあります。

地域の課題のほかに団体の目線で捉えている課題も重要と考えています。

3つ目は『市民議会』です。幅広い年代から未来の滝沢市への想いをいただくことを大切に、干支議会やU22など趣向を凝らして取り組んでいます。

議場体験や発表者同志でさまざまな意見の共有ができることなど、参加者にとっても意味あるものと捉えています。

市民の声は議会が設定するほかにも、市民からの請願・陳情等をいただいています。

## ⑤成果の周知

- ①～④の議会活動の成果は
- 議会だより
- ホームページ
- 議会報告会等で常に情報公開し、議会の動きをお伝えしています。



## ④議案審議と意見・提言

政策提言した内容や、調査・研究した成果を、議員全員が共有し、議案や予算・決算の審査に活かしています。

市民の意見や、議会の意見・提言がどの程度市の政策等に反映されているかの視点で、チェック機能を果たします。

## ③議会内共有と対応・協議

各常任委員会の進捗よく状況や調査報告内容等、議員間の情報共有を重視し、議会の方向性などを全員協議会で協議します。

また、必要に応じて政策提言すべき内容かどうか議員全員で協議します。

## ②課題の整理・抽出と調査研究

議会報告会、市民懇談会、市民議会、請願、陳情等で寄せられる内容は1つひとつ整理し、いろいろな角度から議論をしていきます。議会の中に置かれている常任委員会が大きな役割を担っています。議論を深めるために、論点をホワイトボードに書き出すなど、委員会内で見える化を行いながら、課題を整理していきます。

議員一人ひとりの考えを提案しながら進めることにより、本筋を見だし現地調査や、市民懇談会などで不足な情報を集約し、議論を深めていきます。この議論は、個々の議員の力を集結した「チーム議会」を意識して進めています。

## 議会への期待インタビュー

商工業者の元気が滝沢市の地域活性化につながります。議会からのご支援を期待しています。



滝沢市商工会 会長 阿部 正喜さん



滝沢市学童保育連絡協議会会長 佐々木 敦享さん

子どもたちがのびのびと生活し働く親が安心して暮らせるまちづくりをこれからも続けていただきたいです。



滝沢市自治会連合会会長 下田 富幸さん

議会改革に向けた不断の取り組みに敬意を表します。一方、条例に基づく議会の検証については市民感覚目線を取り入れる工夫が必要と考えます。



滝沢市 PTA 連絡協議会会長 山口 恒司さん

子どもたちが日々安心・安全に過ごせて「この街で育って良かったな」と将来思える魅力的なまちづくりをお願いしたいです。

## 後期基本計画の検証

滝沢市総合計画は、基本構想計画期間を前・後期各4年間に区分して、進められています。総合計画の中の構想部分については、議会の議決が伴うことから進行中の計画をチェックするとともに、次期総合計画に向け調査・提言に進めていきます。調査・提言は、市が計画の展開戦略として掲げている「健康づくり」「若者定住」の二つを柱として進めます。

取組内容

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
令和元年	調査開始 課題の抽出	調査終了 提言のまとめ	調査の修正 提言	次期総合 計画への 反映チェック	次期総合計画 予算への反映チェック 採決

※この内容は、議会報告会等で報告致します。





一新会 工藤 勝則 議員

【問】市長方針の「地域産業活性化と地域産業の成長を推進すること」で地域経済のさらなる発展と雇用拡大を目指す。具体的な計画は。

【答】水稲から果樹野菜酪農に至る各種農業形態を育む豊かな自然と魅力ある観光資源、地域のひととものつながりを効果的に活用しています。



滝沢市民クラブ 日向 裕子 議員

【問】市民の公共交通に対する要望の把握状況は。

【答】市民アンケート、バスの乗り込み調査、地域での意見交換会などを実施し、市民の要望、意向などを把握しています。

【問】市内企業優先入札の考えは。公平性を堅持し、市内事業者に配慮します。

【答】地域要件を考慮し、育成を含めた市内事業者を優先した入札の考えは、公共事業の行政運営では公平であることが大前提です。

【問】除雪対策と市内事業者への配慮は。育成について、年間を通し当該道路の「除雪と補修」セットで発注する考えは。

【答】除雪委託しているのは39社、市内事業者のうち土木工事の実績が有るの15社だけで、市内の除雪を行うことは除雪面積および延長から見ても困難です。



日本共産党 川口 清之 議員

【問】本市で18歳までの子どもが国保税の均等割りの免除を実施した場合の負担増は。

【答】18歳以下の国保被保険者はおよそ860名であり、最大で約2千300万円の増です。



新志会 山谷 仁 議員

【問】菓子駅前駐車場は、無料駐車場として人気がある。滝沢市民が利用しやすくも利用できないところが多くあるとの声を聞くが解消策は。

【答】18年に菓子駅前が開設して13年が経ち、駐車場の諸設備の更新が課題となっています。

【問】本市の子育て世帯の経済的支援に、国保の均等割りの免除は、国が制度として行うべき案件と捉えています。

【問】今年8月から医療費助成拡大をしたが、中学生卒業まで医療費の窓口負担無料化の考えは。

【答】現在、1か月1医療機関当たりの窓口負担金額は、3歳未満児を除く就学前児童では、入院で2500円、入院外で7500円、小学生以上では、入院で5千円、入院外で1500円です。

【問】今後の維持管理の観点から有料化することも検討します。

【答】行政職員と複数の民間事業者が意見交換を行い、当地域の持つ自然や観光資源を活かした事業に向け、前向きな意向を示す事業者がいます。



滝沢市民クラブ 齋藤 明 議員

【問】市の人口増に向けた方針と対策は。

【答】活力ある地域を創っていくための土地利用を進め、流入人口を促進し、本市の最大の強みである大学の立地を活かすこと、定住先を決める重要な要素となる働く場の確保が重要と考えます。



会派に属さない議員 奥津 一俊 議員

【問】橋りょう補修工事に関する予防保全型維持管理を適正・効果的に具現化させるための留意点は。

【答】本市では、専門技術者の指摘事項を補修内容に活かして予防保全ができるように留意し、今後維持管理を行っていき

【問】市の人口増に向けた対策は。土地利用と働く場の確保が重要と考えます。

【答】活力に満ちた地域創造、災害時の対応など、非常に重要な課題と捉えています。

【問】生産年齢人口の「歳入・市民税・法人税等」の関わりと今後の動向及び予測は。

【答】本市の生産年齢人口は、少子高齢化により直近5年平均で1%程度の減少が続いています。

【問】橋りょう補修工事への対応は。今後の点検結果により包括的民間委託方式を検討します。

【問】市内全世帯に対し、防災行政無線からの情報周知の徹底を図る対応は。

# 一般質問

## 《9月会議》



日本共産党 仲田 孝行 議員

【問】今年3月に策定の「滝沢市ごみ減量化行動計画」の進捗状況は。

【答】市内の主な小売店と結んだ「滝沢市における容器包装廃棄物削減への取り組みに関する協定」に基づくプラスチック製容器等の店頭回収や、地域のごみ集積所を活用した資源回収を始めた自治会もあり、減量の取り組みが始まっています。

【問】市内小売店との「協定」で廃棄物削減に取り組んでいます。進捗よく状況は。

【答】現時点では、計画の最終年度の9年度までに、リサイクルを含む3R推進活動で、家庭系ごみ排出量15%減量の目標達成と更なる減量を推進し、計画期間中でも状況に応じ柔軟に対応します。

【問】生ごみの減量化や再資源化を早めるべきと思うがどうか。

【答】「県央ブロック」ごみ処理広域化基本構想に基づき、広域市町と連携しごみ処理広域化の検討、協議を重ねながら広域化に取り組めます。



滝政会 井上 仁 議員

【問】本市の観光客減少についての所見は。

【答】減少の要因は、管理施設でのイベント来場者の減少の恐れ、それ以外では1万2千人の増加となります。



滝政会 稲荷場 裕 議員

【問】本市での児童虐待の相談内容と件数の推移は。

【答】身体的虐待が割合を超え、例年20件程度が30年度は31件に増えました。

【問】急増している児童虐待の防止対策は。

【答】児童相談所に併設された「児童虐待防止センター」で市町村が担うべき役割を果たし、機能強化に努めます。

【問】具体的な観光ビジョンは。平成22年策定の観光ビジョンを改定して新たに策定します。

【答】観光交流人口を増やすこと、また地域へお金を落とす仕組みづくり等が必要であり、地域の範囲を越えた情報発信が重要です。



公明党 相原 孝彦 議員

【問】食料品などの店舗減少に伴う川前、柳沢、小岩井などの地域への支援は。

【答】国は「買い物弱者応援マニュアル」を策定しながら、各自治体の優良事例の発掘と取り組みの横展開を進めています。

【問】食料品などの店舗が減少している地域への支援は。地域の課題を踏まえ調査研究します。

【答】地域が求めるサービス内容と市場原理に基づき企業側の事情など、さまざまな部分で調査と調整が必要です。

【問】歳入の中でふるさと納税の重要度は。厳しい財政状況下で貴重な財源であると捉えています。

【答】ふるさと納税が減少傾向となっているが、歳入の中で重要な役割を担っている。厳しい財政状況下では貴重な財源になると捉えており、返礼品の内容を見直し、季節物の返礼品の充実、ポータルサイトの増設など、寄付環境を向上させていきます。



公明党 小田 島 清美 議員

【問】小学校への外国語指導助手の増員は。

【答】外国語の授業が小学校5・6年生で年間70時間、3・4年生では35時間実施されることから、より多くの授業で外国語指導助手を活用した授業を実施するために、さらなる増員が必要な状況にあると認識しています。

【問】外国語・外国語活動の教員の研修の充実。引き続き増員について検討します。

【答】本市の全小中学校の外国語教育の中核となる教員は、県で実施している「小学校外国語中核教員研修」を受講しています。

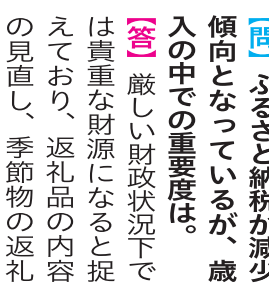
【問】介護予防について。分の住んでいる地域で、いつでも気軽に相談できる体制の構築は。

【答】地域包括支援センターについて、市内3箇所に地域包括支援センタープラントを設置しています。

【問】施設方針にある観光資源の発信の内容とは。

【答】観光交流人口を増やすこと、また地域へお金を落とす仕組みづくり等が必要であり、地域の範囲を越えた情報発信が重要です。

【問】施設方針にある観光資源の発信の内容とは。



会派に属さない議員 菅野 福雄 議員

【問】ふるさと納税が減少傾向となっているが、歳入の中で重要な役割を担っている。厳しい財政状況下では貴重な財源になると捉えており、返礼品の内容を見直し、季節物の返礼品の充実、ポータルサイトの増設など、寄付環境を向上させていきます。

【問】市職員の通勤を公共交通機関に変更することによる経済効果は。

【答】市職員が公共交通機関を利用した場合の経費は、交通機関の種類や利用条件等により相違するため、単純に経済的效果は計りませんが、交通事業者に対する経済的効果は一定量見込めると考えています。



# 議決一覧(9月会議)

## ○全員賛成で議決した議案

議案	案件
議案第 1 号	令和元年度滝沢市一般会計補正予算(第 3 号)
議案第 2 号	令和元年度滝沢市国民健康保険特別会計補正予算(第 2 号)
議案第 3 号	令和元年度滝沢市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)
議案第 4 号	令和元年度滝沢市介護保険特別会計補正予算(第 2 号)
議案第 5 号	令和元年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計補正予算(第 2 号)
議案第 6 号	滝沢市税条例等の一部を改正する条例等の一部を改正することについて
議案第 7 号	滝沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて
議案第 8 号	滝沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて
議案第 9 号	滝沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて
議案第 10 号	滝沢市消防団条例の一部を改正することについて
議案第 11 号	滝沢市下水道条例の一部を改正することについて
議案第 12 号	財産の取得に関し議決を求めることについて
議案第 14 号	平成 30 年度滝沢市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第 15 号	平成 30 年度滝沢市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
議案第 16 号	令和元年度滝沢市一般会計補正予算(第 4 号)
議案第 17 号	損害賠償請求案件に係る和解及びこれに伴う損害賠償の額を定めることに関し議決を求めることについて
認定第 1 号	平成 30 年度滝沢市一般会計歳入歳出決算を認定することについて
認定第 3 号	平成 30 年度滝沢市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を認定することについて
認定第 5 号	平成 30 年度滝沢市介護保険介護サービス事業特別会計歳入歳出決算を認定することについて
認定第 7 号	平成 30 年度滝沢市下水道事業会計決算を認定することについて
認定第 8 号	平成 30 年度滝沢市水道事業会計決算を認定することについて

## ○賛否が分かれた議案

結果 ○賛成 ×反対 ※ 日向清一議員は議長であるため採決には加わりません		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	表決議員数	賛成票数	反対票数
		奥津一俊	菅野福雄	佐藤澄子	日向裕子	工藤勝則	遠藤秀鬼	川口清之	仲田孝行	小田島清美	井上仁	松村一	齋藤明	長内信平	柳橋好子	山谷仁	相原孝彦	稲荷場裕	角掛邦彦	藤原治	日向清一			
認定第 2 号	平成 30 年度滝沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算を認定することについて	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	19	17	2
認定第 4 号	平成 30 年度滝沢市介護保険特別会計歳入歳出決算を認定することについて	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	19	17	2
発議第 1 号	生活保護基準引き下げ中止を求める意見書	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	×	×	×	○	※	19	12	7

## ○請願

件名	請願の趣旨	請願者	結果
公共事業に関する請願書	【請願事項】 1 地元企業が安定的な雇用確保を図ることができるよう、複数の種類や工区の地域維持事業をまとめた契約単位や、複数年の契約単位とすること。 2 発注対象は、迅速かつ確実に現場へアクセスすることが可能な体制を整えた地域精通度の高い地元建設業者とすること。	滝沢市建設業協会 会長 吉清水 清美	採択
生活保護基準引き下げ中止を求める請願書	次の請願事項について国及び関係機関に対し、意見書を提出していただきますようにお願いいたします。 【請願事項】 1 生活保護基準引き下げを直ちに中止することを求める。	滝沢生活と健康を守る会 会長 皆川 末子	採択

## ○人事

諮問第 1 号	人権擁護委員	藤井 美雪 氏	適任
同意第 1 号	滝沢市固定資産評価審査委員会委員	神 初見 氏	同意

## 12~1月議会の活動

12月 4日(水)	議会運営委員会
12月 4日(水)	全員協議会
12月11日(水)	12月会議※
12月13日(金)	各常任委員会
12月16日(月)	12月会議(一般質問)※
12月17日(火)	12月会議(一般質問)※

12月18日(水)	12月会議(一般質問)※
12月20日(金)	12月会議(閉会)※
1月 9日(木)	1月会議※
1月27日(月)	議会運営委員会
1月27日(月)	全員協議会

このほか常任委員会ごとに随時日程を決定し活動します。  
※は議場で開かれます。それ以外は、それぞれ委員会室等で開かれます。



9月会議の傍聴者 66 名

- お知らせ**
- ◎滝沢市議会のホームページで「議会だより」や「議会会議録」をご覧ください。
  - ◎議場・議会事務局は市役所 4 階です。
  - ◎日程・内容は予定であり、変更する場合がありますのでご了承願います。

滝沢市議会ホームページ

QRコードをスマートフォンなどの携帯端末で読み取ると「滝沢市議会」のホームページをご覧ください。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。